

児童発達支援センター「摂津市立つくし園」

(1) 概況

つくし園は就学前の様々な発達の遅れや課題を有しているお子さんに対して、保護者の子育て支援・家族支援を行いつつ、お子さん個々の発達を促すことのできる環境を提供することに主眼を置いた療育・保育を行った。児童発達支援センターとして、発達に課題のある子どもたちを対象に障がい特性へのきめ細かい配慮を行う『障害児相談支援』、保育所・幼稚園・学校等を訪問し、発達に課題のある乳幼児、児童に対し集団生活への適応のための専門的な支援や教職員に対するアドバイス、その他の必要な支援を行う『保育所等訪問支援』、そして通園を中心とした『児童発達支援』の三つで児童発達支援センターの指定要件であるすべての事業を行っている。また、障がい種別を問わない乳幼児の心身ともに豊かな発達を促す療育を行い、サービスの質の向上を目指して、通園形態・通園時間等の見直しを行いながら、併設されているめばえ園の理学療法士・作業療法士・言語聴覚士との連携を図り、専門性の向上を図った。

進路指導に関しては全利用児を対象にクラス面談及び個別面談で行い、就学を迎える5名については、市教育委員会に園の進路指導に関する取組を理解していただき、対象校区の市内4小学校及び摂津支援学校で保護者見学の機会を設け、対象児の体験入学等を実施し進路決定に繋げた。2月に門真市より転入してきた就学を迎える利用児についても、校区の小学校および教育委員会と連携をとりスムーズに入学できるよう配慮した。また、成長発達にとってより良い環境を求め、幼稚園へ4名、保育所へ6名の移行に結びつけ、進路決定後もスムーズに移行できるように進路先の見学・引き継ぎの機会を設け、卒園・修了した16名に対してアフターフォローに努めていく。

(2) 療育の状況

発達の遅れがある園児について障がいの程度や発達段階に応じて集団や個別の方法で療育した。

①クラス編成は単独通園クラス2クラスと母子通園クラスの1クラスとし、年齢、発達状況、母子関係を考慮した個別プログラムを立て療育を行った。母子クラスでは単独クラスへの移行を見通して通園形態を変更したり、園児の発達状況に応じたきめ細かな取り組みを実施した。

②食事、排泄、着脱など基本的な生活習慣の獲得をねらい、習慣化による動作の体得や認知面の発達を促し生活のリズムを整えるように援助した。

③遊びやいろいろな行事を通して人との関わりを持ち、ことばを育み、心身の豊かな発達を促した。

同一の設定保育で個々の発達状況により課題別にグループ編成をしたり、就学予定児への訓練プログラムも実施した。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士との連携により助言、指導を受けた。

④行事

実施日	行事名	場 所	参加者 (人)	内 容
4月3日	保育説明会	園 内	園 児 17 保護者等 19	保護者に通園における諸規則、注意事項を説明。
5月17日	日曜参観	園 内	園 児 22 保護者等 58	保護者（特に父親）が療育内容と子どもの様子を知り理解を深める機会とした。
7月7日	七夕まつり	園 内	園 児 22 保護者等 4	季節の行事として経験の拡大を図った。

実施日	行事名	場 所	参加者 (人)	内 容
7月24日	夕涼み会	園 内	園 児 23 保護者等 158	児童発達支援センターの利用対象児、OB・OG、保護者、職員の交流を行った。
10月7日	遠 足 (単独クラス)	万博 自然文化園	園 児 10	単独通園クラスの在籍園児の集団としての活動を楽しみ、経験拡大を図った。
10月14日		摂津市立 三島公園	園 児 9	
10月2日	遠 足 (母子クラス)	茨木市立 水尾公園	園 児 9 保護者等 9	母子通園クラスの在籍園児の集団としての活動で、親子で楽しんだ。
10月31日	運動会	鳥飼体育館	園 児 28 保護者等 97	保育の運動面の取り組みについて保護者と成長や課題を確認する機会とした。
12月11日	クリスマス会	園 内	園 児 28 保護者等 33	保護者と一緒にクリスマス会を楽しんだ。
12月18日	もちつき	園 内	園 児 25 保護者等 28	季節の行事として経験の拡大を図った。
2月3日	豆まき	園 内	園 児 23 保護者等 6	〃
2月14日	生活発表会	園 内	園 児 29 保護者等 84	一年の総まとめとして子どもたちの発達を保護者と確認し成長の糧とした。
3月16日	お楽しみ会 (単独クラス)	第1児童 センター	園 児 21 保護者等 20	単独通園クラスの在籍園児の集団として最後の活動を行う。
3月22日	卒園式 修了式	園 内	園 児 32 保護者等 45	卒退園・一年の修了を祝った。

行事については・通常の保育形態で実施する行事 ・季節の行事 ・保護者と協力して実施する行事 ・家族参加の行事に分類される。

園児個々の発達段階を考慮して各クラスあるいは全体での行事として内容を考慮し実施した。園児が安全に楽しめ、力を発揮できる環境を整えるため、職員ボランティア、OB・OG保護者ボランティアの導入により個々の園児にスポットが当たる行事とすることができた。

⑤家庭との連携

園と家庭との連携のため、行事の参加はもとより以下の取り組みを実施し、園児の発達に共通の認識を持ち正しく園児を理解できるよう努めてきた。

項 目	実 施 内 容
家 庭 訪 問	園児の生活基盤である家庭の状況を把握するため入園後に実施した。また必要に応じて実施する。
個 別 面 談	各担当者が母親との信頼関係を築きながら、生活習慣と発達の援助について園と家庭での様子に関する情報交換・課題に取り組み、進路についてなどの内容を主として精神的な援助やアドバイスをを行い自己決定できるように促した。 (年4回、その他随時)

ク ラ ス 面 談	各クラスの状況に応じた取り組みや課題設定についての説明。母親がクラスの中で他人の意見が聞けて自分の意見を言えるようになり、互いに協力しあって自己を高めていけるように促した。 (毎月1回)
3 者 面 談	進路の決定や家族の障がい受容に向けて、必要に応じて父親も参加しやすい日曜日に面談を実施した。 (随時)
合同親子保育	全園児、全保護者を対象とした取り組みを行った。2クラス合同で行うことによりクラス間の交流、全体としてのまとまりをねらいとして実施した。午後は、母親教室を実施することが多かった。 (月1回)
単独クラス 親子保育	単独通園クラスの保護者を対象とした取り組みを行った。親子で登園し子どもを見ながら園と家庭との様子の違いなどの情報交換・園と家庭の役割・協力体制を整えることを目的として実施した。 (月1回)
保 育 参 観	計画に基づいての参観は給食参観・日曜参観・生活発表会の事前練習参観を実施した。また、保護者が園での子どもの状態を把握する目的での参観も、随時受け入れた。
連絡ノート	日々の園と家庭での子どもの生活状況・食事内容・健康状態などの伝達手段として、保護者の育児に対する考え・姿勢・問題点を把握し、園の取り組みに対する理解を促し、アドバイスをを行った。 (毎日)
園 だ よ り	近況紹介、新入園児の紹介、月間予定、給食だより（献立表） 連絡事項などの内容で保護者、関係機関に配布 (毎月)

*母親教室

園児の発達に関する学習や講習による技術習得、保護者の悩みの軽減による精神的なゆとりを持つ事等が子育てにとって何より重要であり、以下のとおり実施した。 (人)

実施日	テ ー マ	内 容	講 師	参加者
4月24日	契約事務の説明	契約、利用者負担軽減	施設長	15
6月26日	緊急時に対応する 技術習得	消 防 総 合 訓 練 C P C R 実 習	市消防本部	15
9月18日	ことばのはなし	ことばの発達と理解	言語聴覚士	19
11月28日	なんでできないの？	日常生活場面でのアドバイス	作業療法士	19
1月30日	福祉サービスの利用	卒退園後の事業所利用	施設長代理	18

⑥進路指導

子どもの発達にとって望ましい環境を提供し、スムーズな移行と適応を図るための取り組みとして、就学児については進路説明会を行い、教育委員会を窓口、対象校（地域小学校と支援学校）の見学と体験入学の打ち合わせを行った。学校に体験入学の主旨や、園児の状況に対する理解を促した上で、体験入学を実施し、保護者が進路について十分な理解と検討をした上で、教育支援会議を迎えるという手順を踏んだ。就園（幼稚園、保育所）についても進路説明会を行い、進路先に対する理解を促し、必要に応じ体験入園や一日保育を行った。

(保護者懇談会)

(人)

実施日	内 容	保護者
4月17日	就学児進路説明会	5
7月 3日	幼保進路説明会	16
11月13日	OB交流会	19
3月 4日	進路のつどい	16

(小学校・支援学校小学部)

(人)

実施日	対象機関	内 容	対象児
5月21日	鳥飼東小学校	取組説明	1
5月26日	撰津小学校	取組説明	2
5月28日	味舌小学校	取組説明	1
5月29日	三宅柳田小学校	取組説明	1
6月9日	撰津小学校	見学	2
6月18日	三宅柳田小学校	見学	1
6月23日	味舌小学校	見学	1
7月7日	鳥飼東小学校	見学	1
7月8日	撰津支援学校 小学部	見学会	5
7月31日	撰津市 教育委員会	教育相談	5
9月30日	撰津支援学校 小学部	体験入学	3
10月16日	撰津小学校	体験入学	2
10月20日	三宅柳田小学校	体験入学	1
10月23日	撰津支援学校 小学部	検討会議	2
10月26日	鳥飼東小学校	体験入学	1
10月29日	味舌小学校	体験入学	1
11月19日	教育支援会議	検討会議	2

(幼稚園・保育所)

(人)

実施日	対象機関	内 容	対象児
1月18日、19日	べふこども園	一日保育	3
2月3日、4日	子育て総合支援センター保育所	一日保育	1
2月8日、9日	鳥飼保育所	一日保育	1
2月15日、26日	正雀保育所	一日保育	1

(3) 健康管理

園児の健康状態の把握には常に家庭と連絡をとり、必要に応じて医療機関・保健所との連携に努め、助言、指導を受け療育に活かしてきた。特に衛生状態には細心の注意を払い対応した。日々の取り組みとしては、戸外遊びなどを多く取り入れ、体づくりを行うと共に歯磨き指導や給食時における食事指導による健康づくりを実施してきた。

5月より園庭に日除けネット、ミストシャワー等を設置し、快適な園生活になるように努めた。健康診断は次のとおり実施した。

①内科医健診

健診日	6月15日、11月16日
-----	--------------

②その他健診、検査

健診日	内容
5月19日	歯科健診
6月4日	耳鼻科健診
5月14日	蟻虫・検尿検査

(4) 給食調理

園児の心身の健全な発育、発達、健康の維持増進、体力の向上を図るため質・量ともに適切な食事を提供することに努め、園児及び園生活の現況に即した給食提供を行った。

給食業務をウオクニ株式会社に業務委託を行い、大量調理マニュアルに沿った衛生管理の充実に努め、月1回の同社の調理員・営業と施設側の施設長・保育士・児童指導員・栄養士で給食会議を実施した。また給食会議とは別に、調理員と施設側の保育士・児童指導員の会議も月1回実施し、喫食状況の把握、園児の状況に配慮し調理形態を工夫した給食提供をした。

家庭との連携のため月1回給食だより・献立表の配布を行った。

(5) 通園児の状況

①通園状況

(延べ人数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
母子クラス 園児数	75	84	107	105	78	88	111	106	95	84	104	121	1,158
単独クラス 園児数	270	250	325	350	262	331	375	312	289	304	369	407	3,844
園児数合計	345	334	432	455	340	419	486	418	384	388	473	528	5,002

②年齢別

(人)

年齢	3才	4才	5才	6才	計
男	3	9	6	5	23
女	1	3	5	1	10
計	4	12	11	6	33

③障がいの状況（原疾患・合併症・診断名） (人)

区分	発達遅滞	染色体異常	自閉症 スペクトラム障害
男	16	1	6
女	9	0	1
計	25	1	7

④療育手帳の所持 (人)

区分	A	B1	B2	所持無	計
男	1	4	6	12	23
女	2	0	3	5	10
計	3	4	9	17	33

⑤身障手帳の所持 (人)

区分	1級	3級	計
男	1	1	2
女	0	0	0
計	1	1	2

⑥進路の状況 (人)

区分	保育所	幼稚園	支援学校	地域小学校	計
男	4	1	1	4	10
女	2	3	0	1	6
計	6	4	1	5	16

(6) 障害児相談支援

児童発達支援センターの地域支援の一つに位置づけられ、子どもたちの抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援を行った。

①利用状況 (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
身体障がい	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	4
重症心身 障がい	1	2	1	0	2	0	1	0	0	0	1	2	10
知的障がい	9	6	3	1	6	4	10	10	4	7	10	5	75
発達障がい	7	0	3	3	3	2	0	0	5	3	4	4	34
その他	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
計	18	8	7	4	12	6	12	10	10	10	15	13	125

②支援内容

(人)

福祉サービスの利用等に関する支援	228	保育・教育に関する支援	49
障がいや病状に関する支援	2	社会参加・余暇活動に関する支援	0
健康・医療に関する支援	0	その他	35
不安の解消・情緒安定に関する支援	11		
家族関係・人間関係に関する支援	1	計	326

(7) 各種会議

施設間及び通園児に対する療育内容の向上と職員間の連携をとるため、次のとおり会議を開催した。

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 施設連絡会議（毎月2回） | 2. 法人行事実行委員会（随時） |
| 3. ケース会議（随時） | 4. 行事会議（随時） |
| 5. 処遇会議（毎日） | 6. 家庭児童相談室との会議（判定会議等） |
| 7. 総括会議（年度末） | 8. 給食会議（月1回） |

(8) 災害防止対策

通園児や職員の安全を確保するため、自衛消防体制の確立による災害時の役割分担を周知し、火災を想定した避難訓練・消火訓練（総合訓練を含む）を月に1回実施した。(人)

実施日	想定災害	訓練内容	参加者			
			園児	保護者等	職員	合計
4月17日	火災	避難訓練	20	6	10	36
5月22日	〃	〃	19	5	10	34
6月26日	〃	総合消防訓練	21	20	11	52
7月17日	〃	避難訓練	21	4	10	35
8月21日	〃	〃	21	3	10	34
9月4日	震災	〃	24	6	10	40
10月23日	火災	〃	17	0	10	27
11月20日	〃	〃	22	5	10	37
12月16日	〃	〃	16	2	10	28
1月18日	震災	〃	22	6	9	37
2月26日	火災	〃	23	4	10	37
3月4日	〃	総合消防訓練	27	7	10	44

(9) 防犯安全対策

通園児や職員の安全を確保するため、防犯訓練を実施し環境整備に努めた。安全点検簿を作成し、敷地内の点検を日々行い、事故等の未然防止、危険箇所の把握・改善に取り組んだ。

実施日	参加人数
5月17日	16名
3月28日	12名

(10) 職員研修

日常の療育活動に必要な知識、技術を習得し、職員の資質を高めるため研修会等へ参加した。

研修日	研修名	開催場	主催	参加者
5月25日	大阪府茨木保健所管内集団給食研究会 総会	茨木市	大阪府	栄養士
6月1日	チットチャット・スポーツ塾講演会	摂津市	摂津市自閉症児をもつ親の会	施設長代理
6月5日	自閉症療育センターwill 研修①	高槻市	自閉症療育センターwill	保育士
6月17日	児童福祉施設研修会（食事提供）	東大阪市	大阪府	栄養士
6月22日	北摂ブロック栄養士研究会	高槻市	高槻市	栄養士
7月13日	自閉症療育センターwill 研修②	高槻市	自閉症療育センターwill	保育士
8月4日	職場のメンタルヘルス	摂津市	摂津市	施設長
8月5日	摂津支援学校公開研修会	摂津市	摂津支援学校	児童指導員
8月26日 8月27日	大阪府相談支援従事者初任者研修	堺市	大阪府	施設長
9月4日	自閉症療育センターwill 研修③	高槻市	自閉症療育センターwill	保育士
9月14日 9月15日	大阪府相談支援従事者初任者研修	堺市	大阪府	施設長
9月18日	安全運転管理者等講習会	摂津市	摂津市	施設長
9月25日	大阪府相談支援従事者初任者研修	堺市	大阪府	施設長
9月29日	北摂ブロック栄養士研究会	大阪市	高槻市	栄養士
9月30日	指定障がい福祉サービス事業者等 集団指導	大阪市	大阪府	主任
10月16日	自閉症療育センターwill 研修④	高槻市	自閉症療育センターwill	保育士
10月21日	大阪府茨木保健所管内集団給食研究会 勉強会	茨木市	大阪府	栄養士
11月5日	高槻支援学校公開研修会	高槻市	高槻支援学校	保育士
11月13日	自閉症療育センターwill 研修⑤	高槻市	自閉症療育センターwill	保育士
11月25日	児童福祉施設研修会（食事提供）	東大阪市	大阪府	栄養士
11月30日	北摂ブロック栄養士研究会	茨木市	高槻市	栄養士
12月2日	大阪府障がい者虐待防止・権利擁護研修	大阪市	大阪府	施設長
12月14日	特定給食講演会Ⅱ	堺市	大阪府栄養士会	栄養士
1月14日	障害者差別解消法について	大阪市	大阪知的障害者福祉協会	施設長代理

1月15日	自閉症療育センターwill 公開講座	高槻市	自閉症療育センターwill	児童指導員
1月25日	圏域連絡会	高槻市	自閉症療育センターwill	施設長代理
2月4日	ステッピングストーンズトリプルP	大阪市	大阪市	施設長代理
2月20日	発達障害の早期発見シリーズ	高槻市	大阪医科大学LDセンター	代理主任
2月22日	圏域連絡会	茨木市	自閉症療育センターwill	主任保育士
2月27日	発達障害の早期発見シリーズ	高槻市	大阪医科大学LDセンター	主任
3月28日	北ブロック保健所管内児童福祉施設合同研修会	高槻市	茨木保健所	栄養士

(11) 施設実習生の受け入れ

児童発達支援センターが地域における社会資源として、外部からの実習生を受け入れた。

実習期間	学校名等	内容	人数
7月6日～17日	日本メディカル福祉専門学校	保育実習	1
8月24日～9月4日	関西福祉科学大学	保育実習	1
9月7日～9月18日	関西福祉科学大学	保育実習	1

(12) 他機関との連携

①子育て支援ネットワーク推進会議

実施日	事業名	出席者
5月20日、10月20日 2月8日	第五中校区地域教育協議会 役員会	施設長
5月22日	子育て支援ネットワーク推進会議代表者会議	施設長
6月1日、3月7日	第五中校区地域教育協議会 総会	施設長
6月9日、9月29日 3月7日	地域子育て連絡会実務担当者会議	保育士
7月28日、1月29日	鳥飼地区子育て支援活動担当者会議	保育士
10月14日	オレンジリボンキャンペーンワーキング会議	施設長
7月30日、9月3日 11月12日、1月14日 2月18日	第五中校区地域教育協議会 子育て支援部会	施設長
10月28日	親子ランド 味舌スポーツセンター	施設長
11月11日	オレンジリボン街頭キャンペーン	施設長
1月24日	第五中校区連携事業 たこづくり・たこあげ・ゲーム大会	全職員

1月29日	親子ランド in 鳥飼 会議	保育士
2月25日	子育て支援ネットワーク推進会議 障害児相談連絡会	施設長 施設長代理
3月15日	親子ランド in 鳥飼	施設長 保育士

平成27年度も第五中校区連携事業たこあげ・ゲーム大会は、地域の団体と連携して校区の鳥飼小学校、鳥飼東小学校、第五中学校、とりかい保育園、とりかいひがし遊育園、そして当園の対象児が一堂に会し楽しむ事ができた。

②摂津市児童発達支援事業所連絡会

子育て支援課からの要請で市内の事業所を集めて連絡会を立ち上げた。情報交換、スキルアップを図り、全体的な支援体制を向上させるというねらいで実施する。

実施日	内容	参加事業所	開催場所
6月8日	事業所連絡会の立ち上げ	8事業所	市役所
12月1日	個別支援計画について	7事業所	児童発達支援センター

③その他

*摂津市要保護児童対策地域協議会

つくし園在園児の家庭での様子や親子関係から虐待の疑いがある場合は、要保護児童対策地域協議会と連携をとり、情報交換をして子どもの安全に努めた。

*アフターケア

卒園児が就学した小学校へ担当者が出向き、就学先や卒園児保護者からの相談に対応した。また、退園児が入所した保育所にも担当者が出向き、アフターケアを行った。また運動会や発表会等の行事に出向いたり、他機関との接点がある度に、関係者から情報を収集するなどして卒退園児の状況掌握に努めた。

*保護者 OB・OG ボランティア

母子通園等により伴われて来園する園児のきょうだいの預かりを、保護者 OB・OG ボランティアで対応した。当園の母子保育の意味から保護者がしっかりと園児と向き合えたことにより、療育に大きな成果を得た。

*ボランティア

夕涼み会にて人形劇にボランティアグループのころりんぼっけ4名と野外での演奏に市立第五中学校吹奏楽部35名の参加を得た。

*職業体験

市内の中学校の取り組みである職業体験学習を受け入れた。今年度は三校から、それぞれ二年生2名ずつ二日間の体験学習を実施した。

実施日	学校名	参加者
6月18日、19日	第三中	女子2名
7月9日、10日	第四中	男子2名
11月11日、12日	第五中	女子2名

(13) 保育所等訪問支援

今年度から開始し、様々なケースに対して個々に応じた適切な支援を行った。

実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
公立保育所	1	9	7	8	9	9	7	9	8	5	9	9	90
私立保育所	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	37
公立幼稚園	10	19	11	12	10	9	14	10	11	9	10	11	136
私立幼稚園	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	0	18
小学校	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5
計	15	33	23	25	25	23	26	24	24	19	25	24	286

(14) 日中一時支援事業

日中一時支援事業（市町村事業）として、障がい児に対し長期休暇や放課後の預かり、保護者のレスパイト支援の一環として、障がい児やその家庭の福祉向上を図るために、日中活動の場として受入れを行った。

利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ人数	21	22	29	37	31	34	42	32	33	29	30	44	384